



TITLE:

各地のたより

AUTHOR(S):

CITATION:

各地のたより. 天界 1938, 18(207): 299-300

ISSUE DATE:

1938-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167680>

RIGHT:

各地の
た　よ　り大阪支部
神戸支部
藤井天文臺
満洲支部

大阪支部通信

☑ 5月第1回例会(5月7日) 神戸大丸食堂にて阪神合同にて18時開會, 百濟學士の講演「太陽觀測をする人の爲に」.

☑ 京阪兩支部第7回合同ハイキング(5月15日) 快晴に恵まれて石清水八幡宮に皇軍武運長久祈願して附近を跋涉し歸途は枚方の航空博覽會5名参加.

☑ 支部報第38號(5月18日) 用紙2枚, 160部發行.

☑ 5月第2回例会(5月21日) 心齋橋筋心交社にて18時半開會, 井本氏の「本邦天文學史第7講」と百濟學士の「木星の衛星の話」は共に誠に貴重な御講演, 後は第1回天文用語審議會を開き天文學術語の検討を行ふ. 出席者19名.

☑ 支部報第39號(6月1日) 用紙2枚, 170部發行.

☑ 阪神兩支部合同天體觀望會(6月4日) 神戸須磨改發觀測所にて夕刻より快晴の星月夜を同所の15 纏屈祈赤道儀にて金星・月・海王星・星團・星雲・重星等を觀望, 一同は改發氏の御揮毫を各1枚宛賜り遠近よりの出席者約30名盛會.

☑ 阪神合同ハイキング(6月5日) 阪急夙川に集合した一行4名は苦樂園六麓莊より劍峰に到り1萬3千年前の天文臺?を調査して芦屋川に降る.

神戸第8回例会

神戸支部5月例會は7日(土)18時より神戸元町大丸食堂に於て開かれました. この例會は本部主催の會合として, 京阪神の多數會員の出席が期待せられましたが, 山本先生は御差支への爲御缺席, 會する者も漸く14名に過ぎませんでした事は淋しい事でありました. しかし, 百濟先生のサングラスに關する興味深きお話があり, 一々圖を以て懇々教へて頂きました事は感謝でありました. 殊に神戸支部としては今回若き會員を更に3名迎へる事が出来まして, 喜ばしく感じました.

因みに本日の出席者は, 百濟教猷, 改發香塲, 佐伯信太郎, 松代安太郎, 井本進, 西森紀久雄, 津久井修, 江原勇吉, 黒岩捨三, 大谷敏道, 三宅和夫, 神田壹雄, 美田爲三, 乾久朗の諸氏でありました.

大津・藤井天文臺

藤井天文臺の公開豫定日は, 毎月第2日曜日夜になつてゐるが, 5月は14日夕に月食が起るため豫定を變更して, 14日(土)17時より月食觀望會として公開された.

當夜は丁度土曜日であり、殊に日没と同時に缺けながら上る月食が見られる譯で時間的にも都合よく、各方面へ發送された案内によつて日没前から續々參觀者が訪ねて來、殊に大津市にある縣立女子師範學校生徒約50名の來會があり大賑ひとなつた。

陳列されてゐる標本や天文參考圖の説明に京都から出席の京星會、吉岡、宇野兩氏が汗だくになり、日時計の説明を終り、日没前の西空に輝く金星を8厘屈折機で覗かせる。日没、程なく缺けた月が東の低い山の端に現はれる。ドームの望遠鏡では藤井守一氏、奥村六一郎氏によつて16ミリで撮影が行はれてゐる。女生徒は氣象觀測用鐵塔一階に登り、月食を眺めながら、多忙中わざわざ來場下さつた花山天文臺長山本一清博士の月食解説を興味深く聞く。この鐵塔一階は地上約10米、50名位なら樂に收容出来る廣さで天界觀望に絶好の場所である。星座解説や質疑應答があり、22時頃閉會。内輪の者だけで成功最初の月面16ミリ映寫が行はれた。

滿洲支部

大連支部解散 大連支部は昭和11年10月14日強化後の第1回總會を舉行したるが、其後會員となるもの全滿に及びたるに依り昭和12年5月支部幹事會を開催し大連支部を解散し、6月1日を期し全滿を一事業單位とせる滿洲支部を創設することゝす。大連支部は5月31日を以つて光輝ある歴史を閉づ。

滿洲支部創設 大連支部並びに奉天支部を合體し6月1日滿洲支部創設され同時に支部役員を次の如く決定す。

支 部 長	渡 邊 精 吉 郎
幹 事 長	河 合 孝 一
幹 事	千 葉 八 十 四
同	橋 田 義 壽

尙事業を分擔するため次の部及分會を置くことゝせり。

- a. 庶務部 本部計畫・經理兩部の事務
- b. 事業部 本部事業・出版兩部の事務
- c. 觀測部 本部觀測・教育兩部の事務
- d. 各分會 支部の事業範圍は廣地域に涉るため各地に分會を設置する